

小中一貫教育だより『つなぐ』の発行にあたって

保護者・地域・教職員の皆様へ

平素より、学校教育への御理解と御協力をいただきありがとうございます。また、各校・園・所における、新型コロナウイルス感染症防止対策に関しましても、日々御理解と御協力を賜り、心からお礼を申し上げます。

現在、笠岡市では、子どもたちが、将来直面する情報化やグローバル化といった変化の激しい社会を強く生き抜いていく力を育むため、教育三改革（就学前教育の再編成、小中一貫教育、学校規模適正化）を掲げ、就学前教育と義務教育とをつなぐ「小中一貫教育」を推進しています。

「小中一貫教育」とは、これまで取り組んできた小中連携教育を更に発展させ、小中学校の教職員が一体となって義務教育9年間の枠組みの中で一貫した指導や支援を行い、子どもの「学び」や「育ち」の連続性をしっかりと保障していくものです。笠岡市教育委員会では、令和2年3月に「笠岡市小中一貫教育推進計画」を策定し、令和5年度からの本格実施に向け、準備を進めているところです。

昨年度から、何度か各地域で説明会を開催いたしました。まだまだ私たちが目指す「小中一貫教育」がどのようなものか疑問に思われる方もいらっしゃると思います。そこでこの度、市民の皆様により詳しく「小中一貫教育」を理解していただくため、この「小中一貫教育だより『つなぐ』」を発行し、継続的に情報発信をさせていただくことといたしました。

令和5年度の本格実施に向け、来年度と再来年度を試行期間といたします。この間に、学校現場はもちろん、保護者や地域の皆様の御意見もしっかりといただきながら、将来の笠岡市を担う子どもたちを育てる「小中一貫教育」を創り上げていきたいと考えています。また、現在再編成が進められている就学前教育との滑らかな接続を図り、幼少期から安心してお子様を預けていただけるような仕組みを創り上げてまいります。

ぜひともこの『つなぐ』を御一読いただき、笠岡市教育委員会が目指す「小中一貫教育」を御理解いただくと共に、御意見や御質問等がございましたらお気軽にお寄せいただければ幸いです。

令和2年7月30日

笠岡市教育委員会
教育長 岡田 達也

【お問い合わせ先】

笠岡市教育委員会 学校教育課 一貫教育推進室 (Tel:69-1060)

小中一貫教育だより

つなぐ

令和2年度
No. 1
8月



～「学び」「育ち」をつなぎ、自立して共に生きる子どもを育てる～

笠岡市教育委員会 一貫教育推進室

いよいよ令和3年度から小中一貫教育が始まります。9年間を通じた系統的な教育を目指し、令和3年度・4年度の試行を経て、令和5年度から完全実施となります。各中学校ブロックでは、どんな子供に育てるのかを地域の実態に応じて考え、そのための取組や小中一貫教育の推進体制の整備の準備を進めています。

笠岡市小中一貫教育だより「つなぐ」では、小学校と中学校の「学び」をつなぐ、「育ち」をつなぐ、「教育環境」をつないでいく笠岡市の小中一貫教育の様子をお知らせしていきます。

笠岡市小中一貫教育のねらい

「学びの連続性、系統性」

「育ちの連続性」

「教育環境の連続性」

をめざした小中一貫教育

- ・「中1ギャップ」の緩和など、生徒指導上の成果を上げる
- ・学習指導上の成果を上げる
- ・9年間を通して児童生徒を育てるといふ教職員の意識改革を行う
- ・教員の指導力の向上を目指す
- ・異学年児童生徒の交流を促進する



小中連携教育と
小中一貫教育の
違いは？

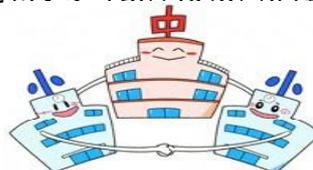
小中連携教育は、小・中学校段階の教員が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育です。

小中一貫教育は、小中連携教育のうち、小・中学校段階の教員が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育です。

小中一貫教育コーディネーターを市内の3校に配置しました

笠岡東中学校、笠岡西中学校、金浦中学校に小中一貫教育コーディネーターを配置しました。それぞれの中学校ブロックで中心となって一貫教育を推進していきます。中学校ブロック内の各学校の調整や異学年交流の調整を行い、円滑な教育活動を進めるための調整担当をしていきます。

笠岡東中学校・・・高倉 宏充 先生
笠岡西中学校・・・渡辺 求 先生
金浦中学校・・・西井 保 先生



小中一貫教育の取組の様子

～ 笠岡西中学校から今井小学校へ英語の乗り入れ授業 ～

小学校6年生の授業で、中学校の英語科の先生がT1、小学校の担任がT2のチームティーチングで行われました。全8時間の単元で、ALTの先生に英語で質問したり、答えたりできるようにすることがねらいの学習です。

7月15日(水)の単元の4時目の授業は、ALTの先生に「～ができますか」と質問する、尋ね方の学習でした。中学校の先生の専門性を生かした指導とともに、チームティーチングで個に応じた支援がなされていました。

子どもたちは中学校の先生を知り、中学校の先生は子どもたちのことを知ることで、中学校入学後の不安が少なくなるのではないかと感じました。



令和3年度から中学校ブロックでの学校運営協議会が始まります！

各中学校ブロックで「こんな子供に育てほしい」という願いを、学校、保護者、地域が共有し、その実現に向けて三者が一体となって一貫教育を進めていくために、中学校ブロックを単位とした学校運営協議会を設置します。

9年間を通じた教育目標や教育課程等の共有を図り、地域学校協働活動本部とも連携しながら、地域とともに地域の子供を育てていきます。

